

## 1 外部向け研修会・講習会・公開講座等の実施状況

(1) 二次保健医療圏域・事業種別ごとのオンライン意見交換会			
担当部署	地域リハ推進部	対象	県内二次保健医療圏域ごとの通所リハ事業所、訪問リハ事業所、地域包括支援センター、オブザーバーとして各広域支援センター
目的	COVID-19により停滞してしまった「地域の専門職が話し合う場」づくりをWEB会議システムにより県リハ支援センターとしてモデル的に実施し、地域での横のつながりを再構築するとともに、地域課題の情報収集をする。	日時	R2.6.9(火) (通所リハ事業所) R2.6.10(水) (訪問リハ事業所) R2.6.11(木) (地域包括支援センター) R2.6.12(金) (地域包括支援センター) R2.6.19(金) (通所リハ事業所) R2.6.22(月) (通所リハ事業所) R2.6.25(木) (訪問リハ事業所)
		場所	オンライン開催
		参加人数	33施設 59名
事業種別ごとのテーマ <ul style="list-style-type: none"> <li>・通所リハ：「どうしていましたか？新型コロナ下で通所リハ事業所が困ったことと解決方法」</li> <li>・訪問リハ：「どうしていましたか？新型コロナ下で訪問リハ事業所が困ったことと解決方法」</li> <li>・地域包括：「どうしていましたか？新型コロナ下での地域の高齢者の把握方法」</li> </ul>			

(2) 第2回せき損リハ・ケア研修会			
担当部署	脊損リハケアワーキンググループ	対象	医師、理学療法士、作業療法士、看護師、介護福祉士、ソーシャルワーカー、ケアマネージャーなど
目的	千葉県内の脊髄損傷患者に対するリハビリテーションを発展させるため、当センターの脊髄損傷者に対するリハビリテーション支援の取り組みを紹介する。	日時	R2.6.20(土) 10:00～16:00
		場所	オンライン開催
		参加人数	43名
講義①「高齢脊髄損傷者のリハビリテーションにおける諸問題」(センター長 菊地尚久) 講義②「脊髄損傷者の評価」(リハビリテーション療法部 副部長 村山尊司) 講義③「ソーシャルワーカーが行う退院支援」(総合相談部 入退院支援室長 阿部里子) 講義④「排泄管理の実践について」(看護部 看護師長 横山夕里子) 講義⑤「脊損者の新たな排便管理法と評価ツールについて」(コロプラス株式会社 中村奈緒子氏) 講義⑥「理学療法の流れ -移乗・移動を中心に-」(リハビリテーション療法部 上席理学療法士 鈴木謙太郎) 講義⑦「脊髄損傷者の生活支援 -作業療法士によるリハビリテーション-」 (リハビリテーション療法部法科 作業療法士 神保和正) 全体質疑応答(センター長 菊地尚久) グループ交流会「気楽に話そう！職種別情報交換会」			

(3) ちば地域リハ・パートナーを対象としたオンライングループワーク			
担当部署	地域リハ推進部	対象	ちば地域リハ・パートナー
目的	圏域を超えたちば地域リハ・パートナー同士の交流の場づくりを広域支援センターとともに実施する。	日時	R2.10.2(金) 19:00～20:30 R3.3.1(月) 18:30～20:00
		場所	オンライン開催
		参加人数	31施設 44名
テーマ：「コロナ禍での施設・機関同士のつながり方の工夫」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・話題提供…県内関係機関のオンライン会議、研修の対応状況調査結果報告</li> <li>・グループワーク…テーマに基づいたグループワークを実施</li> </ul>			

<b>(4) 高次脳機能障害地域支援者向け連続講座 2020 (WEB 講座)</b>			
担当部署	高次脳機能障害支援センター	対象	高次脳機能障害者に対する支援を行っている千葉県内の支援者及び高次脳機能障害に関心がある支援者
目的	「千葉県高次脳機能障害支援普及事業委託契約」及び「千葉県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実施要領」に基づき、高次脳機能障害の正しい理解を促進するため、地域の支援機関・支援者向けに連続で講座を開催し普及・啓発活動を行うことを目的とする。	日時	R2. 10. 14(水)14:00～15:00 R2. 12. 16(水)14:00～15:00
		場所	オンライン開催
		参加人数	R2. 10. 14(水) : 167 名 R2. 12. 16(水) : 66 名
R2. 10. 14、R2. 12. 16 ・講義「高次脳機能障害概論」 (高次脳機能障害支援センター長 長谷川純子、高次脳機能障害支援センター 首席理学療法士 揚戸薫、高次脳機能障害支援センター 作業療法士 岡本美希子、高次脳機能障害支援センター 心理師 三浦麻由佳)			

<b>(5) 第 16 回高次脳機能障害リハビリテーション千葉懇話会 (千葉県受託)</b>			
担当部署	高次脳機能障害支援センター	対象	医療機関、福祉機関、就労支援機関等の職員
目的	「千葉県高次脳機能障害支援普及事業委託契約」及び「千葉県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実施要領」に基づき、高次脳機能障害の正しい理解を促進するため、医療機関、福祉機関及び就労支援機関向けに懇話会を開催し、普及・啓発活動を行うことを目的とする。	日時	R2. 10. 23 (金) 18 : 00～19 : 30
		場所	オンライン開催
		参加人数	344 名
講演：「脳損傷者の自動車運転再開に必要な知識と支援の実際」 (東京都リハビリテーション病院 研究担当部長 武原格氏)			

<b>(6) 出前講座「どうにかしよう！その膝の痛み」</b>			
担当部署	関節ワーキンググループ	対象	膝の痛みがある地域住民及び家族
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>膝の痛みでお悩みの方に、変形性膝関節症の正しい知識と痛みに対する適切な対処方法を理解していただき、痛みの軽減と自己管理能力を高める。</li> <li>当センターで実施している人工関節手術等の治療について周知する</li> </ul>	日時	R2. 10. 30 (金) 14:00 ～ 16:00 R3. 3. 27 (土) 14:00 ～ 16:00
		場所	城西国際大学千葉東金キャンパス
		参加人数	各回 30 名程度
医師から ・変形性膝関節症に関する講話・薬と食品の飲み合わせに関する講話 ・食事から 3D プリンターを使っての最新手術までに関する講座 PT から ・自宅で出来る膝体操講話と紹介			

<b>(7) 第18回脊髄損傷リハビリテーション講習会 (日本損害保険協会助成事業)</b>			
担当部署	地域リハ推進部	対象	当事者、家族、支援者 介護福祉士養成校、看護師養成校、リハ 標榜病院等の職員他
目的	自動車事故により脊髄損傷などの後遺障 害を被った者の早期職場復帰・社会参加 の実現のため、講習会の開催を通じて、 被害者とその家族、支援者等への情報提 供や情報交換の場を提供すること	日時	R2.11.24(火)～R2.11.29(日)
		場所	オンライン開催
		参加人数	595名
<p>テーマ「車椅子からの乗り移りで使ってみませんか?～専門家が伝える脊髄損傷者の生活に役立つ福祉用具～」</p> <p>講義①「脊髄損傷者の生活に役立つ移乗用具」(地域リハ推進部長 田中康之)</p> <p>講義②「これからは力まない!スライディングボードの使い方とコツ」 (地域リハ推進部 主任理学療法士 太田直樹、リハビリテーション療法部 理学療法士 藤平智也)</p> <p>講義③「乗る人も介助する人も楽に!移乗リフトの使い方とコツ」 (地域リハ推進部 主任理学療法士 後藤達也、リハビリテーション療法部 理学療法士 後藤拓也)</p>			

<b>(8) 全国脊髄損傷者連合会千葉県支部公開講演会</b>			
担当部署	脊損リハケアワーキンググループ	対象	全国脊髄損傷者連合会会員・一般市民
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>脊髄損傷者に対する理解の啓発活動</li> <li>地方のバリアフリー化の促進</li> <li>自治体の災害対策の改善</li> <li>障害者の自立と積極的な社会参加を促 進するためのピアサポート活動の拡大</li> </ul>	日時	R2.11.29(日)
		場所	かずさアカデミアパークホール2階
		参加人数	80名
<p>①身障者ドライバーの安全運転への取り組みについて (南フジオート 杉山光一氏)</p> <p>②千葉県の防災の取り組みと要配慮者への支援について  <ul style="list-style-type: none"> <li>県の防災政策の概要・避難行動要支援者・避難所について (千葉県防災危機管理部防災政策課)</li> <li>千葉県災害福祉支援チーム(DWAT)について (千葉県健康福祉部健康福祉指導課)</li> </ul> </p> <p>③ピアサポートシンポジウム (リハビリテーション療法部 成人心理発達科長 三宅純子、総合相談部 主任ソーシャルワーカー 石井さや香)</p>			

<b>(9) 第14回千葉県地域リハビリテーションフォーラム (千葉県受託)</b>			
担当部署	地域リハ推進部	対象	千葉県・滋賀県・京都府・兵庫県・広島 県各府県における府県リハビリテーシ ョン支援センターおよび広域支援センター
目的	千葉県の県リハ支援センターと広域支援 センターが他府県のリハ支援センターと の交流を通じて情報交換をし、今後の地 域リハ支援体制整備推進事業に活かす。 また、公的、公設機関が府県リハ支援セ ンターの役割を担う意義について意見交 換すること。	日時	R3.1.9(土) 13:00～16:15
		場所	オンライン開催
		参加人数	34施設64名 (うち千葉県10施設23名)
<p>テーマ「発想の転換」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シンポジウム「府県リハビリテーション支援センターとしての発想の転換」</li> </ul> <p>シンポジスト:5府県(京都・滋賀・兵庫・広島・千葉)リハビリテーション支援センター担当者 (千葉県からは地域リハ推進部長 田中康之がシンポジストとして参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループワーク「広域支援センターの発想の転換」 (府県の別を越えて広域支援センター同士でグループワークを実施)</li> </ul>			

(10)	<b>2020 当事者・家族のための高次脳機能障害勉強会 (WEB 講座)</b>		
担当部署	高次脳機能障害支援センター	対象	千葉県内にお住いの高次脳機能障害をお持ちの当事者ならびにご家族
目的	「千葉県高次脳機能障害支援普及事業委託契約」及び「千葉県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実施要項」に基づき、高次脳機能障害の正しい理解を促進するため、地域支援機関に向けた研修会を開催し、普及・啓発活動を行う事を目的とする。	日時	R3.1.13 (水) 14:00~15:00
		場所	千葉リハビリテーションセンター
		参加人数	オンライン開催
講義「高次脳機能障害の主な症状と基本的な対応 (高次脳機能障害の理解のために)」 (高次脳機能障害支援センター長 長谷川純子、高次脳機能障害支援センター 主席理学療法士 揚戸薫、高次脳機能障害支援センター 作業療法士 岡本美希子、高次脳機能障害支援センター 心理師 三浦麻由佳)			

(11)	<b>第 17 回高次脳機能障害リハビリテーション講習会 (日本損害保険協会助成事業)</b>		
担当部署	高次脳機能障害支援センター	対象	当事者、家族、行政機関、医療機関、地域包括支援センター、就労移行・就労継続機関等の職員
目的	自動車事故、転倒、転落等による脳損傷に起因する様々な神経心理学的障害を有する高次脳機能障害者の早期職場復帰・社会参加の実現のため、講習会の開催を通じて、当事者とその家族、支援者等への情報提供や、情報交換の場を提供することを目的とする。	日時	R3.1.22 (金) ~28 (木)
		場所	オンライン開催
		参加人数	502 名
テーマ：「知ってほしい！千葉リハ高次脳支援～回復期医療その後～」 講演①「退院後の医療支援」(診療部 第一脳神経内科部長 赤荻英理) 講義②「支援体系の切れ目をつなぐ」(高次脳機能障害支援センター 主席理学療法士 揚戸薫) 講義③「生活の土台を作る」(更生園 支援部 上席生活支援員 坂田宏) 講義④「働きたいを応援する」(更生園 支援部 就労支援科長心得 吉田大)			

(12)	<b>第 3 回高次脳機能障害生活版ジョブコーチ支援研修会 (千葉県受託)</b>		
担当部署	高次脳機能障害支援センター 千葉リハ高次脳機能障害地域生活復帰支援プロジェクト	対象	千葉県内の高次脳機能障害の支援に携わる支援者(相談支援事業所、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、訪問介護事業所等)
目的	「千葉県高次脳機能障害支援普及事業委託契約」及び「千葉県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実施要項」に基づき、高次脳機能障害の正しい理解を促進するため、地域支援機関に向けた研修会を開催し、普及・啓発活動を行う事を目的とする。	日時	R3.2.15 (月) ~18 日 (木)
		場所	オンライン開催
		参加人数	257 名
講義①「高次脳機能障害の特性と対応」 (リハビリテーション療法部 成人療法室心理発達科長 三宅純子) 講義②「高次脳機能障害の方の地域生活支援～生活版ジョブコーチ支援～」 (高次脳機能障害支援センター 主席理学療法士 揚戸薫) DVD 視聴「生活版ジョブコーチ支援の実際」 講義③「高次脳機能障害におけるヘルパー支援の形」			

<b>(13) 第2回自動車運転に関する医療支援者向け研修会</b>			
担当部署	高次脳機能障害支援センター 千葉リハ高次脳機能障害成人リハプロジェクト（運転コアグループ）	対象	高次脳機能障害者に対する支援を行っている千葉県内の医療従事者及び高次脳機能障害に関心がある支援者
目的	「千葉県高次脳機能障害支援普及事業委託契約」及び「千葉県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実施要領」に基づき、高次脳機能障害の運転再開支援についての正しい理解を促進するため、地域の支援機関・支援者向けに研修会を開催し普及・啓発活動を行うことを目的とする。	日時	R3.2.26（金）18：00～19：00
		場所	オンライン開催
		参加人数	93名
講義①「千葉リハビリテーションセンターでの運転再開評価の実際」 （更生園 支援部 主席作業療法士 小倉由紀） 講義②「最近の交通情勢の動向（道路交通法改定等）」 （千葉運転免許センター 運転教育課 調査官兼課長補佐 中村利弘氏） 講義③「一定の病気に係る免許の可否判断」 （千葉運転免許センター 運転教育課 安全運転相談担当 島倉一臣氏）			

<b>(14) 第3回小児高次脳機能障害支援者向け研修会</b>			
担当部署	高次脳機能障害支援センター 千葉リハ高次脳機能障害小児高次脳プロジェクト	対象	医療・福祉・教育・行政関係等の支援者
目的	「千葉県高次脳機能障害支援普及事業委託契約」及び「千葉県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実施要領」に基づき、高次脳機能障害の正しい理解を促進するため、就労支援機関向けに研修会を開催し、普及・啓発活動を行うことを目的とする。	日時	R3.3.5（金）13:00～15:30
		場所	オンライン開催
		参加人数	193名
講演①『小児高次脳機能障害概論』 「子どもの高次脳機能障害とは」（診療部 第二小児神経科部長 湧井敦子） 「子どもの高次脳機能障害支援の流れ」（療育支援部長 森戸崇行） 講演②『リハビリテーションの実際』 「運動を通じた高次脳機能障害のリハビリ」（リハビリテーション療法部 理学療法士 大矢祥平） 「注意・視覚認知のリハビリ」（リハビリテーション療法部 作業療法士 川原佑亮） 「言語・記憶のリハビリ」（リハビリテーション療法部 小児療法室言語聴覚科長 廣瀬綾奈） 「心理カウンセリングと家族支援」（リハビリテーション療法部 小児療法室心理発達科長 中島友加）			

<b>(15) 「明日からできる脊髄損傷の評価」研修会</b>			
担当部署	脊損リハケアワーキンググループ	対象	医師、理学療法士、作業療法士、看護師など
目的	脊髄損傷のリハビリテーションの関りにあたり、臨床で直ぐにでも脊髄損傷の評価が行えることを目的とする。	日時	R3.3.12（金）18:30～19:30
		場所	オンライン開催
		参加人数	190名
①下記評価について検査方法の実例紹介 1. Frankel 分類 2. ASIA 3. Zancolli 上肢機能分類 4. SCIM 5. WISCI II ②質疑応答 ③千葉県版脊髄損傷データベースの紹介			

<b>(16) 第14回 高次脳機能障害と自動車運転勉強会</b>			
担当部署	高次脳機能障害支援センター 千葉リハ高次脳機能障害成人リハプロジェクト	対象	高次脳機能障害者の自動車運転再開に関する支援を行っている方及びこれから支援を行おうとしている方
目的	「千葉県高次脳機能障害支援普及事業委託契約」及び「千葉県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実施要領」に基づき、高次脳機能障害の正しい理解を促進するため、就労支援機関向けに研修会を開催し、普及・啓発活動を行うことを目的とする。	日時	R3.3.13(土)13:00~14:30
		場所	オンライン開催
		参加人数	47名
講義①「千葉リハでの運転支援の紹介Ⅰ：入院患者に対する支援「運転学習会」の紹介」 (更生園 支援部 主席作業療法士 小倉由紀) 講義②「千葉リハでの運転支援の紹介Ⅱ：障害別支援ポイント」 (リハビリテーション療法部 成人第一療法科長 石田理江子) 講義③「千葉リハでの運転支援の紹介Ⅲ：フォローアップアンケートの紹介」 (リハビリテーション療法部 作業療法士 越田智子)			

<b>(17) 令和2年度地域リハビリテーション調整者養成研修</b>			
担当部署	地域リハ推進部	対象	広域支援センター所属スタッフ
目的	地域リハビリテーション支援体制整備推進事業における地域リハビリテーション広域支援センター担当者が自圏域の地域を分析し、圏域の実情に応じた取り組みや事業実施をできるように研修支援すること	日時	R3.3.19(金)18:00~19:30
		場所	オンライン開催
		参加人数	22名
講義「地域診断の基礎」 (千葉県立保健医療大学健康科学部看護学科 雨宮有子氏)			

<b>(18) 全国脊髄損傷者連合会理事会</b>			
担当部署	総合相談部	対象	全国脊髄損傷者連合会理事
目的	・ピアカウンセリング普及のため当センターでのピアサポートの取り組みについて学ぶ。	日時	R3.3.20(土)10:00~12:00
		場所	オンライン開催
		参加人数	9名
報告「医療機関におけるピアサポートの取り組み」(総合相談部 入退院支援室長 阿部里子)			

<b>(19) 千葉県市町村職員研修(千葉県医療的ケア児等地域支援体制構築支援事業)「重症心身障害児者および医療的ケア児者への支援」</b>			
担当部署	総合相談部	対象	市町村職員(障害福祉・防災担当課)
目的	市町村職員が重症心身障害児者および医療的ケア児者の理解を深め、地域で安心安全に暮らせるための支援体制の構築に繋げる。	日時	R3.3.25(木)
		場所	DVDおよびテキスト配布
		参加人数	約100人
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「重症心身障害児者および医療的ケア児者の特徴」(愛育園長 石井光子)</li> <li>・「NICUからの在宅移行の現状と退院支援」(成田赤十字病院 新生児科第一部長 戸石悟司氏)</li> <li>・「重症心身障害児者および医療的ケア児者の相談支援の実際」(総合相談部 医療福祉連携室長 佐藤郁夫)</li> <li>・「重症心身障害児者および医療的ケア児者の訪問看護の実際」(訪問看護ステーション びいす 代表 看護師 塚田典子氏)</li> <li>・「医療的ケアの必要な重症児者の療育支援・日中活動支援の実際」(療育支援部 通園科長心得 北村由布子、主任生活援助員 成合智子)</li> <li>・「地域の先進事業所紹介」「千葉県医療的ケア児等地域支援体制構築支援事業報告」(福祉局長 景山朋子)</li> <li>・「医療的ケア児等コーディネーターの配置と活用」(相談支援専門員 ぶるーむの風 後藤慎也氏、ととて相談室 加藤亜矢氏、びーんず 富永文子氏、母里子ネット 原拓也氏、中央区基幹相談支援センター 伊藤佳世子氏、中核センターさんネット 赤堀久里子氏)</li> </ul>			